

素晴らしい無料の音楽編集ソフト「Audacity」のご紹介

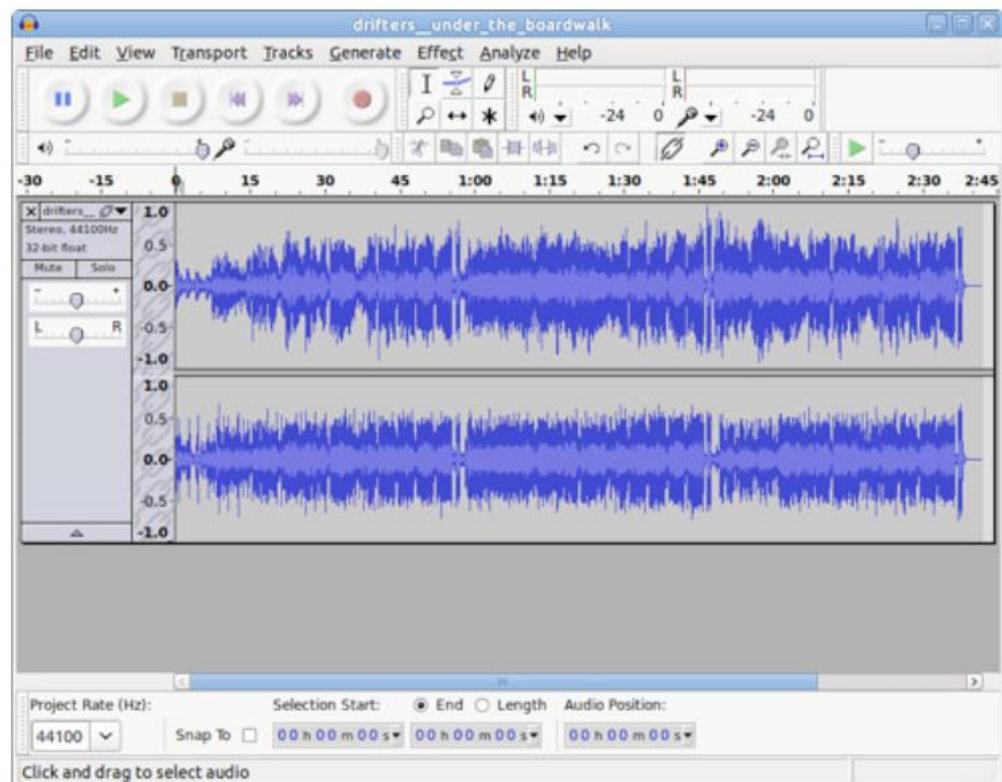
あまりパソコンを使い慣れていない方でも、色々な編集がで
きて音楽を楽しめるようになります。

紹介については、ネット上の紹介例を、より理解し易く編集し直しました。元サイトは
<https://www.ibm.com/developerworks/jp/opensource/library/os-audacity/index.html>
で、IBM Developer のサイトです。ソフトのダウンロードについては
<https://ja.vessoft.com/software/windows/download/audacity>
です。

【イントロダクション】

Audacity は、録音した音声を編集するためのプログラムであり、無料で利用することができます。多くのオプションを備えた強力なプログラムであらゆるサウンドを録音することができますし、一般的なファイル形式でオーディオ・データを保存することもできます。

図 1. Audacity サウンド編集プログラム



また特殊なプログラミング環境が組み込まれているので、慣れてくると編集に無限の可能性が広がります。

【Audacity の機能】

Audacity にはサウンドを操作するための数多くの機能があります。よく使われる機能を以下に挙げます。

・MP3形式での録音

オーディオ・ファイルの制御を完全に行いたい場合は、MP3形式を使用すれば、どの機器に音楽を取り込んでもそのファイルを十分に制御することができます。その音楽をCDにコピーする場合にもiPodにファイルを直接転送する場合にも言えることです。

・着信音

Audacityを使用して携帯電話の着信音を作成することも出来ます。着信音の推奨の長さは約20秒であり、違和感のない着信音にするには、必ずループ可能な着信音にして下さい。Audacityではループ再生が可能なので、編集中に確認が可能です。携帯電話の小さなスピーカーで聴いた場合でもきちんと聞こえるように音量も調整できます。MP3形式でもWAV形式でも保存できます。

・ポッドキャスト作成

マイク（マイクと片側イヤфонの付いたヘッドセットで十分）があれば直接編集画面に録音できて、編集できます。

・アナログ・レコードやカセット・テープの デジタル・バックアップ

上記のマイクの代わりに、他の音声再生装置のイヤフォンジャックとパソコンのマイクジャックを写真のAVコードで結べば、レコードやカセット・テープの音楽をパソコンに保存できます。



【機能について追加】：白井が実際に使っている使い方、機能について紹介

音取りホームページに掲載している音源の多くは、Audacityを使ってMP3ファイルを作成し掲載しています。具体的に列挙すると、

①楽譜ソフトからのパート別音源は、スコアメーカー8まではWAV形式での保存だったので、AudacityでMP3に変換していた（今のスコアメーカー10プロはMP3で保存可能です）。

②参考演奏例としてYouTubeから欲しい曲の音源を作る時、Audacityの画面上で録音し、曲の前後の不要部分を切り除いてMP3ファイルを作成します。

③練習時の録音はIC・レコーダーを使い、休憩迄と、その後を共に約1時間MP3形式で録音しています。このMP3ファイルをAudacityに取り込み、必要な部分だけを取り出す編集をしてMP3ファイルにしてHPに掲載しています。

④HP上の練習時録音に“いいとこ取り合成1曲録音”を日々掲載していますが、これはある曲で20～30分の練習録音から、その日の練習結果が反映している部分だけをつなぎ合わせています、練習の終りの方から。画面には図1.の様に波形が表示されています。横軸は時間です。

表示時間単位は変更可能で、分単位、秒単位、0.1秒単位、0.01秒単位、さらに小さくも可能です。通常、曲のつなぎは0.01秒単位表示にして、聴きながらタイミングを合わせるようにしています。この作業を練習での中断毎に行い1曲に仕上げています。

⑤上記の作業で使っているAudacityの機能について、その項目だけ列記すると次の通りです。

- ・録音
- ・再生
- ・保存
- ・選択部分の録音、再生、保存
- ・無音化
- ・フェードイン
- ・フェードアウト
- ・ピッチを変えずにテンポ変更
- ・移調
- ・クリックノイズ除去
- ・ノイズ除去
- ・増幅、減幅
- など

【Audacity を入手してインストールする】

ここでは白井が 5 月 24 日に最新バージョンに更新するためにインストールした作業を説明します。

ここからは各自の責任において行ってください。

①次の URL をクリックする。

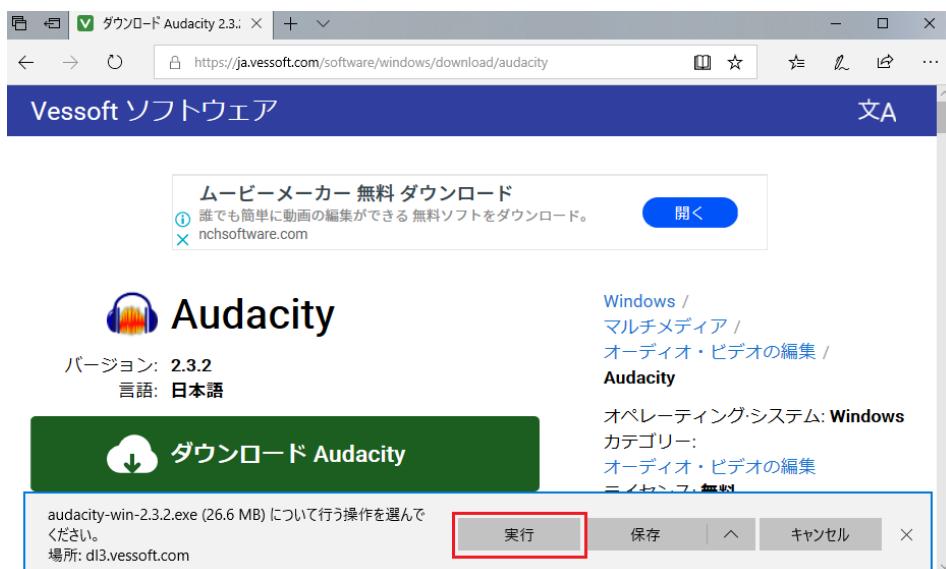
<https://ja.vessoft.com/software/windows/download/audacity>

次の画面が表示される。



②赤枠内の「ダウンロード Audacity」をクリックすると次の画面になる。

緑の「新リリース」や、赤の「今すぐ入手」をクリックすると、関係のないソフトのダウンロードに誘われますので注意です。



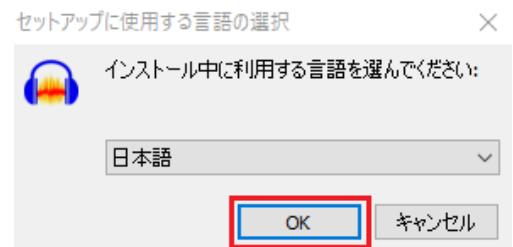
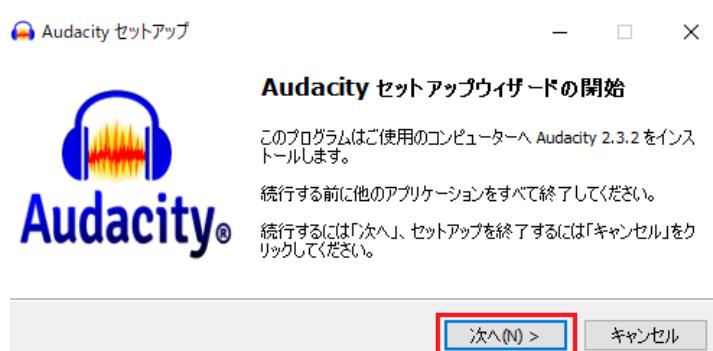
③「audacity-win-2.3.2.exe(26.6 MB)について行う操作を選んでください」と下の方に出るので、

「実行」をクリックする。

一瞬、「セキュリティをチェック中」と出た後

「～変更を許可しますか～」の画面になるので「許可」をクリックする。

- ④画面に、右の言語選択画面が出るので、[OK]をクリックすると下の「セットアップウィザードの開始」画面になる。



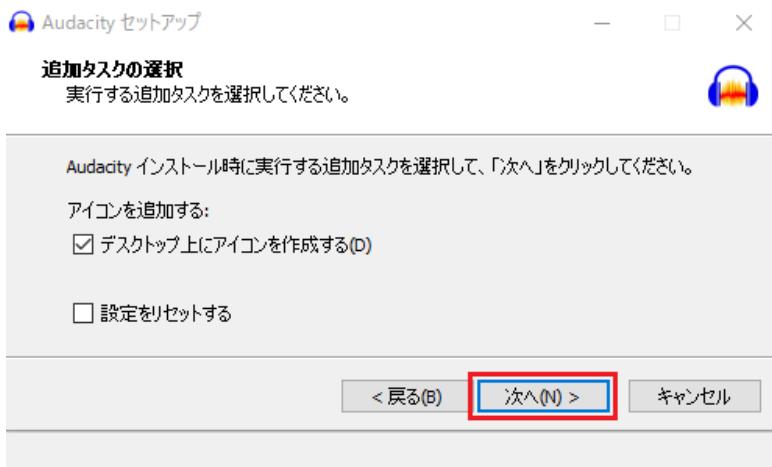
- ⑤ [次へ(N)>] をクリックすると、次の「重要情報確認」画面になる。



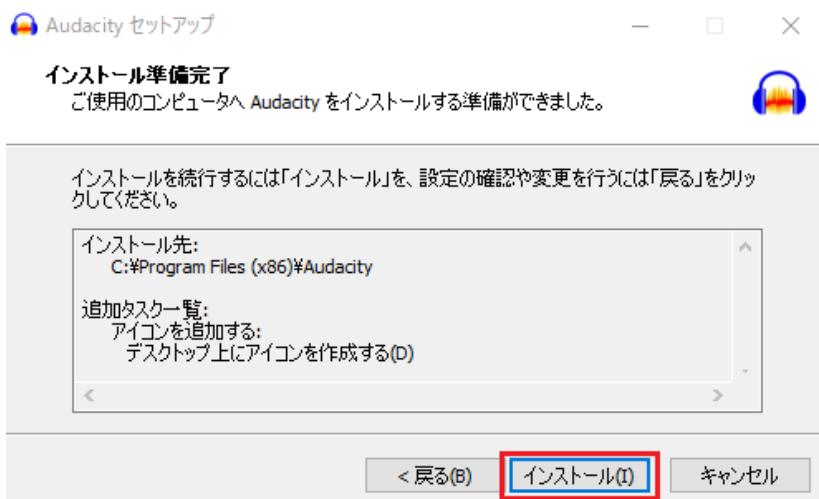
- ⑥ここも [次へ(N)>] をクリックすると、次の「インストール先の指定」画面になる。



⑦インストール先がフォルダ「Program Files」となっており適正なので、ここも **次へ(N)>** をクリックすると、次の「追加タスクの選択」画面になる。

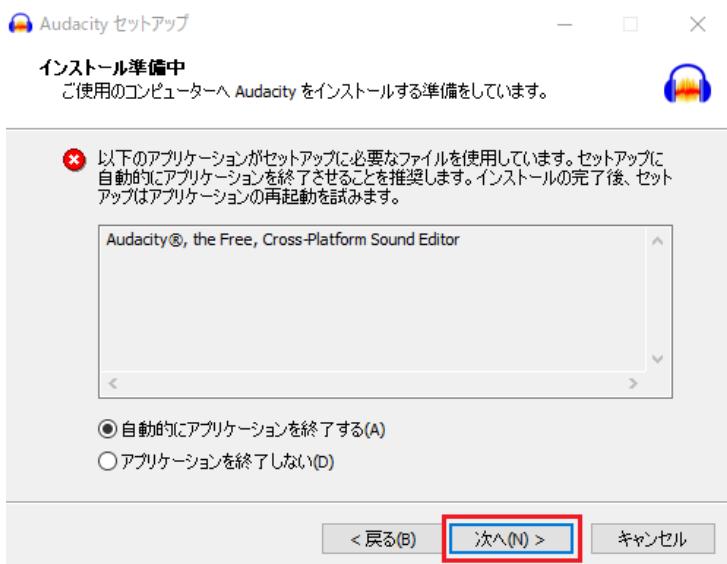


⑧デスクトップにプログラムのアイコンがあつた方が便利なので、ここも **次へ(N)>** をクリックすると、次の「インストール準備完了」画面になる。



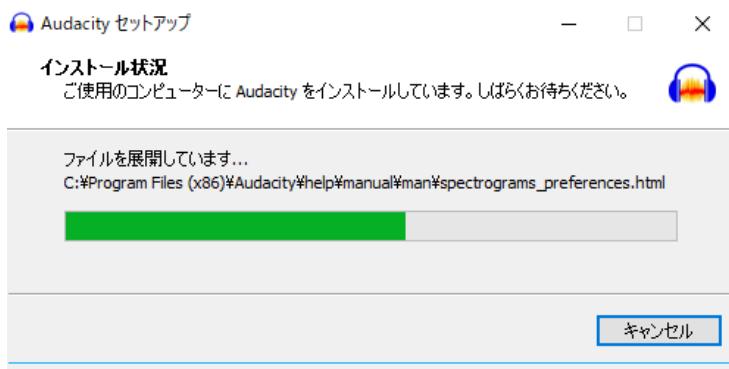
⑨ インストール(I) をクリックする。

次の画面がでた場合は、 **次へ(N)>** をクリックする。

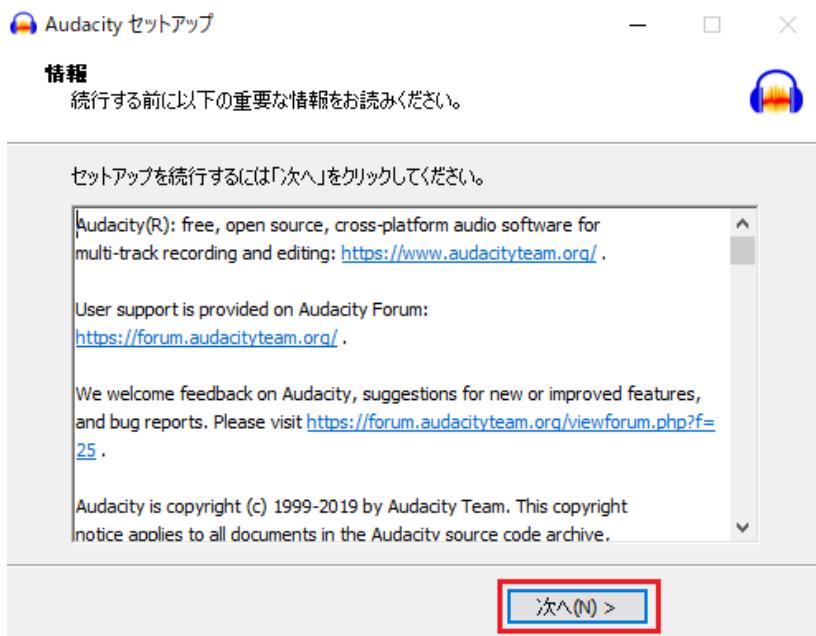


⑩このマニュアルを作るために
古いバージョンの Audacity を
アンインストールして、最新の
Audacity をインストールしながら
途中の画像を作っています。
その関係でこの手順が入ったと
思います。

⑩インストールが始まり、途中経過が表示されます。 1分以内に完了しました。



⑪次の完了に関する重要な情報ですが、 **次へ(N)>** をクリックする。



⑫無事にセットアップ完了したとの次の画面になります。

Audacity を直ぐ実行したい場合はそのまま **完了** を、後で実行する場合は「 Audacity を実行する」のチェックを外して **完了** をクリックする。



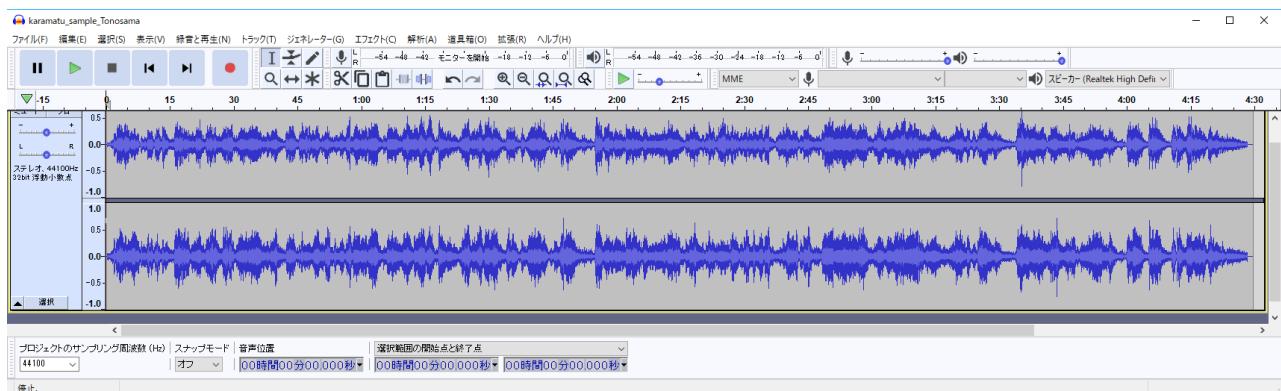
⑬そのまま **完了** をクリックした場合は次の様に Audacity プログラムが立ち上ります。



中央を拡大すると次の様にマニュアル等へのリンクもあります。



OK をクリックして中央の表示を消してから、「落葉松」の演奏例の MP3 ファイルを青紫の位置へドラッグ&ペイストした時の画面は次の様なっています。



【Audacity の操作方法】

ネット上にたくさん紹介されていますのでいくつか列記します。まずは何でもよいから触ってみることです。

① Audacity の簡単な使い方と導入方法の解説：

<https://aviutl.info/audacity/>

② Audacity の優しい使い方：

<https://audacity-mp3.xyz/menu-syousinnsya/>

③ 3 分でわかる Audacity の使い方を」教えます！：

<http://sound-treatment.tokyo/2018/05/17/13637/>

④ Audacity 講座：

https://www.rei-yumesaki.net/audacity_講座/

以上

2019年5月24日